

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2020

表彰式を開催

～祝！最優秀賞、部門賞受賞！～



シーニックバイウエイ北海道指定ルートの「萌える天北オロロンルート」は「オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト」の活動により「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2020」最優秀賞および部門賞を受賞したので、表彰式を以下のとおり開催します。

ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクトはシーニックバイウエイ北海道の活動で、他の模範となり将来への発展性が高く評価出来る活動を選出、表彰する取組として平成20年度から実施しています。

この度令和3年12月14日に開催された「第19回シーニックバイウエイ北海道推進協議会」において最優秀賞および部門賞を受賞した「萌える天北オロロンルート」の表彰式を行います。傍聴・取材を希望される報道関係者の方は、当日、開始5分前に会場までお越しください。

記

日 時 令和4年3月9日（水）14：00～（15分程度）
会 場 留萌開発建設部 1階 第1会議室
内 容 「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2020」表彰式

※受賞プロジェクトの詳細は別紙をご覧ください。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策としてマスクの着用、3密の回避、消毒液の設置、体温測定などを実施いたします。

【シーニックバイウエイ北海道とは】

みちをきっかけに地域と行政等が連携し、『美しい景観づくり』『活力ある地域づくり』『魅力ある観光空間づくり』を目的に地域ごとに特色のある様々な活動が進められ、全道で指定13ルート、候補3ルートの約460の団体が活動しています。詳細は、シーニックバイウエイ北海道推進協議会ホームページを参照ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_kei/ud49g700000nOut.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部（直通：0164-42-4526）

特定道路事業対策官 後藤 浩之（内線 209）

道路計画課 課長 九笹 英司（内線 351）

留萌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>





ベスト・シーニックバイウェイ プロジェクト2020 受賞プロジェクト一覧

受賞部門	プロジェクト名	ルート名
 最優秀賞	～景観阻害物を撤去して再利用！～ 景観向上に向けた雑木伐採と資源のリユースプロジェクト	支笏洞爺二セコルート
	オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト	萌える天北オロロンルート
 部門賞 (美しい景観づくり賞)	～景観阻害物を撤去して再利用！～ 景観向上に向けた雑木伐採と資源のリユースプロジェクト	支笏洞爺二セコルート
 部門賞 (活力ある地域づくり賞)	～伊能忠敬日本図測量開始場所の史実発見と地域資源活用の取組～ 「殿様街道探訪ウォーク」における地域の歴史資源研究活動	どうなん・追分シーニックバイウェイルート
 部門賞 (魅力ある観光空間づくり賞)	オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト	萌える天北オロロンルート
 活動団体賞	～景観阻害物を撤去して再利用！～ 景観向上に向けた雑木伐採と資源のリユースプロジェクト	支笏洞爺二セコルート

魅力ある観光空間づくり賞



活動名称 オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト

ルート名称 萌える天北オロロンルート

エントリー部門

魅力ある観光空間づくり

①活動概要（目的・目標、具体的な取り組み等）

●活動の目的・目標：

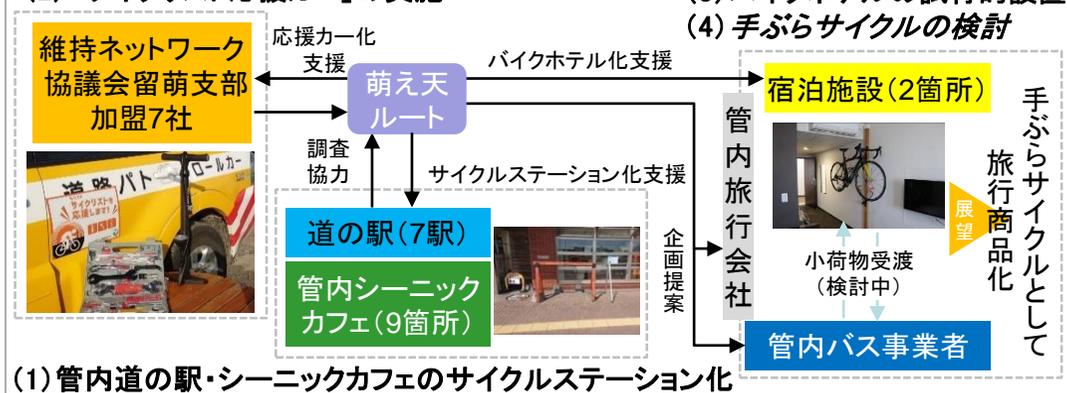
- ・「オロロンライン」はサイクリストにとっても全国的知名度のある区間だが、各休憩施設が点在している上級者向け区間。
- ・ビギナー層やライト層も視野に、管内の事業者・団体と連携しサイクリストの受入環境整備を展開するプロジェクト。
- ・「オロロンラインに訪れたサイクリストを応援する」ことを目的とし、来訪者の増加・観光消費の促進・地域振興を目標。

- ### ●活動内容：
- (1)管内道の駅・シーニックカフェのサイクルステーション化、(2)「サイクリスト応援カー」の実施、
(3)バイクホテルの試行的設置、(4)手ぶらサイクルの検討 ※斜体項目は企画検討段階

- ### ●活動期間：
- 令和元年度～令和2年度 ※継続実施中

②活動の体制

(2)「サイクリスト応援カー」の実施



③PRポイント

【総意工夫した点や苦労した点】

- (1)管内道の駅・シーニックカフェのサイクルステーション化
 - ・サイクルラックの設置先の関係者とワークショップ形式でラックを製作することで、サイクリストの受入環境整備を共に作っていく関係性を体験を通して構築。
- (2)「サイクリスト応援カー」の実施
 - ・区間を頻繁に往来する道路パトロールカーの強みを活かすことで、万が一のトラブルに対応できる「動くサイクルステーション」を管内一円で実現
 - ・社会貢献活動の一環として協力いただくために一社ずつ丁寧に説明。

※各活動内容との関係も記載



本プロジェクトで用いるロゴ
(日本海の夕陽と風車をモチーフ)

『北海道新聞』、令和2年7月9日



『北海道新聞』、令和2年7月8日



サイクルラック製作ワークショップ（留萌北部・中部・南部で3回実施）



サイクルラックにはロゴを焼きゴテで刻印し、皆で完成を喜んだ。

【活動による効果】

- 受入環境整備や地域モチベーションの向上効果
 - ・サイクリストの受入環境を管内一円で楽しみながら底上げ。
 - ・既存の関係団体との協力関係が強化された。
 - ・これまでサイクリストに関心のなかった事業者や団体においても、サイクリストへの理解度が体感を通して高まった。
- 他ルートへの波及効果
 - ・釧路(R2年度～)や十勝(R3年度予定)でも応援カー稼働

(参考) ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト



平成20年度から、シーニックバイウェイ北海道の推進に向け、他の模範となる活動で、将来への発展性が高く評価できる取組を選出・表彰する取組。

▼2019

～「はこだて花かいどう」での一年を通じた継続的な取組～
函館新道「花いっぱい活動」及び「シーニックdeナイト」
(函館・大沼・噴火湾ルート)



▼2018

どうなん道の駅連携事業
(どうなん・追分シーニックバイウェイルート)



▼2017

ビューポイントパーキングの景観改善 (電線移設)
(支笏洞爺二セコルルート)



▼2016

いにしえ街道の景観を活かした街づくり
(どうなん・追分シーニックバイウェイルート)

▼2015

そらの森の植樹活動
(釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ)

▼2014

ライフコンシェルジュ (ご当地風土アドバイザー)
育成事業
(トカプチ雄大空間)



(参考) ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト

▼各賞決定までの流れ

募集開始



各ルートから活動の応募



■ 活動団体賞

各ルートによる投票

- ※対象：指定及び候補ルート
- ※自ルート以外に、持ち点10点を自由配点
- ※最多得点を得たプロジェクトを活動団体賞として選出



■ 部門賞、最優秀賞

ルート審査委員会にて審査

- ※対象：指定ルート
- ※ルート審査委員が、持ち点10点を自由配点
- ※最多得点を得たプロジェクトを部門賞候補として選出
- ※選出された部門賞候補から最優秀賞を選出



推進協議会にて活動団体賞、部門賞及び最優秀賞を決定

(参考) ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト

ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2020のエントリー状況等

<表彰>

●活動団体賞 1 件（指定・候補ルートを対象） 【エントリー数 17件】

●部門賞 3 件（指定ルートを対象）

<エントリー部門>

- ①美しい景観づくり賞 【エントリー数 3 件】
- ②活力ある地域づくり賞 【エントリー数 5 件】
- ③魅力ある観光空間づくり賞 【エントリー数 5 件】

●最優秀賞「ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2020」2 件（指定ルートを対象）
部門賞の中から2件選出 ※例年 1 件のところ、審査の結果今年度は 2 件を選出

<評価の視点>

地域の資源を発見・活用し、有形・無形の「新しい価値」を生み出しているか否かに評価の軸を置くと共に、以下の点に留意し、プロジェクトの評価を行う。

－部門賞及び大賞－

- 持続性（取組の継続性の程度を評価）
- 浸透性（地域内への広がり程度を評価）
- 拡張性（モデルケースとしての地域外へ展開の程度を評価）
- 連携性（地域同士や他団体との連携の程度を評価）
- 先進性（新しいものに取組んでいく姿勢の程度を評価）
- 効果性（定量的・定性的な効果の程度を評価）
- 人材育成